

□議員名：中村博行

1 コンパクトシティ構想について

論点	計画策定のコンセプト、進捗状況はどうか。また、市の将来を左右する事業でもあり、駅南の土地はすべて有効活用できるのか。
回答	諸機能の集積、安全・快適な環境の創造、地域コミュニティの形成をコンセプトに、25年度は将来人口・住宅需要予測等の基礎調査を実施し、現在構想案を庁内協議中である。土地利用については、全地権者にまちづくりのパートナーとして協力を仰ぐつもりである。

2 農業政策について

論点	農地中間管理機構の農地貸出・借受のシステムは、本市の実情にあった制度と言えるか。また、青年就農給付金受給者の現状はどうか。
回答	現在、耕作面積の約16.2パーセントが耕作放棄地で、高齢化等により、遊休化が進行している。規模拡大より現状維持の方向にあって、本市の実情に合っているとは言いがたい。就農給付金受給者のうち、計画達成が難航している農家もあり、市としてもサポートしていく。

3 スマートフォンの使用について

論点	小中学生の携帯電話の所持状況はどうか。使用時間やラインの問題点の把握を含め、使用を規制することについての考えはあるか。
回答	今年4月の調査で、小6が54.1パーセント、中3が70.8パーセントの所持率である。また、本市では長時間使用する生徒の割合は低いものの、出会い系サイトや高額な請求、いじめ等の問題も含んでおり、規制の考えはないが、実態把握に努め、対策を検討していく。

4 ふるさと納税について

論点	他市が重要な財源として、特典品などシティセールスの観点からも工夫し、成果を上げているが、本市の取り組み、考えはどうか。
回答	寄付を頂いた方に、物ではなく感謝の気持ちを伝えるという考えを貫いている。市長直筆のお礼状、サポート大使認定証、職員によるふるさと便りなど良識を持った対応で、市の様子をお知らせしている。ホームページの刷新、観光協会と連携しPRに努めている。